図書館報 次に大

062号

P2~P3 特集

- 江戸川まいにんぐ 『江戸川の名前の変遷』
- そのメロディに魅せられて♪ 『交響曲第3番変ホ長調op. 97「ライン」』
- スタッフのセレクション 『たてもの怪談』



東京2020オリンピック・パラリンピック関連特別展示 大使のお薦め

日本のみんなに読んで欲しいわが国の-

7月24日(水)~9月23日(月・祝)

展示場所:篠崎図書館

篠崎子ども図書館

新聞・雑誌コーナー

ロビー展示コーナー

いよいよ1年後に迫った東京2020オリンピック・パラリンピック。世界に日本を知ってもらうだけでなく、日本に住む私たち が世界に目を向けるチャンスです。篠崎図書館では、各国の大使のご協力を得て上記の展示を行います。東京2020オリ ンピック・パラリンピックを契機に「ぜひ読んでもらいたい自国の作品や作家」を薦めていただき、大使からのメッセージとと もに紹介します。来館者の皆様に本を通じて様々な国や地域への関心を高めていただければと思います。

江戸川まいにんぐ~ 発掘 第62回 江戸川の名前の変遷

江戸川区の東の端を流れる江戸川は区名の由来にも なっており、江戸川区にとって最もゆかりの深い川と言え ます。その昔は渡良瀬川の水が流れていて、太日河(あ るいは太井川、太日川)と呼ばれていました。

江戸時代の初期に、幕府によって「利根川東遷事業」 が行われました。これは東京湾に流れていた利根川の流 路を銚子へ替えるためです。その際、水上輸送路の確保 を主目的として新たな流路が掘られ、利根川を太日河に 繋げたのが寛永の時代です。今の江戸川の原型ができ あがり、以降しばらくは利根川と呼ばれるようになりました。 舟運が盛んになるとともに江戸へつながる川として江戸

江戸川区内のイベントやスポットを、スタッフが調査して 身近な情報をお届けする、地域密着型のコーナーです。

川と呼ばれはじめたようですが、文学作品や紀行文等か ら、明治ごろまでは一般に利根川の名前と併用されてい たと思われます。いつごろ江戸川の名前が定着したのか は、はっきりしません。

市郡合併が実施された昭和7年10月、江戸川区が誕生 するにあたり様々な案が出されましたが、この地域の東 部を流れる江戸川にちなんで区名が決まりました。

もし太日河が利根川に繋がっていなかったり、舟運が 盛んになっていなかったら、江戸川区は「太日河区」や 「利根川区」になっていたかもしれませんね。

江戸川区史 第1巻 論集江戸川 むかしの江戸川区

江戸川区区史編纂室編 「論集江戸川」編集委員会著 江戸川区郷土資料室編

江戸川区 「論集江戸川」編集委員会 江戸川区郷土資料室

K1-21-1 517エ K1-21

篠崎ほか所蔵 篠崎ほか所蔵 篠崎ほか所蔵

第65回 ライブラシネマ篠崎

「僕の村は戦場だった」 1962年 ロシア(旧ソ連)

美しく平和な村は戦火に踏みにじられた。愛する母を殺 された少年は、自ら兵となり敵地へスパイとして乗り込んだ。 そしてある日、少年は出たきり戻ることはなかった。戦争の 無残さをナイーブな感性とリリカルな詩情で表現した監督 アンドレイ・タルコフスキーの代表作。

8月10日(土)

14時~16時 (13時30分 開場)

場所:篠崎文化プラザ 講義室 定員:50名(当日受付、先着順)

そのメロディに魅せられて♪

交響曲第3番変ホ長調op. 97「ライン」(シューマン:交響曲第1番「春」&第3番「ライン」収録)

ローベルト・アレクサンダー・シューマン作曲

パーヴォ・ヤルヴィ指揮 ドイツ・カンマーフィルハーモニー・ブレーメン C1シ08424 篠崎ほか所蔵

シューマンはピアノ曲などが有名ですが、交響曲でも名曲を残しています。今回紹介する交響曲第3番は以前NHKのクラシック音楽番組のテーマ曲にもなっていましたので、耳にしたことがある方もいるでしょう。

この曲の副題「ライン」はシューマン本人が付けたものではありません。ですが作曲当時シューマンはよくライン川沿いを散歩していたそうで、ライン川とその周辺の景色に作曲のインス

ピレーションを受けていたのは確かなことのようです。

しかし、そのライン川にシューマンは身投げしてしまいます。長年患っていた精神病が悪化したのが原因です。一命はとりとめますが、その後2年間の闘病を経て亡くなります。生涯を通じてライン川と深いかかわりを持っていたシューマン。彼が残した作品は今も私たちに美しい調べを届けてくれます。

スタップのモレグションロ

『たてもの怪談』

加門 七海著 エクスナレッジ Fカ 篠崎ほか所蔵

「家がほしい。」

運の良い家に住みたいとの想いから、建築好き、神仏好き、オカルトまじない好きの著者が、 風水や家相、自分の勘を頼りに理想の家を探す。 理想の家の幾つかの条件は「野良猫に優しい」、 「神社または寺があり氏神様と気が合う」、そして 「何もいな~くない場所」。

「私の周りは、ところ嫌わず魑魅魍魎が溢れている」というとおり、心霊現象が起こる。オバケとか"ダメ絶対"ではなく、むしろウエルカム。因縁の無い土地なんてないよね、そりゃ先住者もいるでしょうと。全てを受け入れる「引越物語」など9編からなる、建物で起こる不可解な心霊現象

篠崎図書館・スタッフが選んだ おすすめ本を紹介します。

を記録した本です。

私事ではありますが、某アパートに住んでいた時のことです。東南の角部屋、日当たりも良く、風通しも良い部屋でした。住んでから間もなくして雨漏りに始まり、猛暑にクーラーの故障。連夜の騒音、ポストには勧誘やいかがわしいチラシが入る。ゴミの日には何かの汁が集積所までダラダラと続く。仕事もうまくいかず、体調を崩して逃げるように引っ越しをした。家賃を安く見積ったのがいけなかったのか、もしかしたら「何か」がいたのかは判りませんが、理想は「何も」いない静かな場所。そこで安らかに暮らしたい。

編集後記

川ではモノを流してしまったり、大ケガをしたりとあまりいい思い出がありません。(風雲ふわふわ丸) 区内の親水緑道は、夏は格好の子どもの遊び場になりますね。ザリガニ釣りは親も夢中になりました。(ちゃしこ) 川や池などのそばを通りかかると、何か生き物はいないかと期待してつい覗いてしまいます。(モシャリー)

編集,発行:江戸川区篠崎図書館

住所:〒133-0061

江戸川区篠崎町7-20-19 篠崎文化プラザ内

TEL:03-3670-9102

[しのざき文化プラザHP]内篠崎図書館ページ

https://www.shinozaki-bunkaplaza.com/library/

-4-